2026年度 大学院人文社会科学専攻(修士課程)入学試験

＜ 一般選抜 ＞ (200点 120分)

問 題 冊 子

試験科目名 (言語コミュニケーション論)

受 験 番 号 (　　)

問題冊子… 全3枚(表紙を含む)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験開始直後、問題冊子、解答冊子の枚数等を確認すること。
3. 試験中に、問題冊子・解答冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合、下書用紙が不足する場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
4. 解答用紙の所定の受験番号欄のすべてに受験番号を記入すること。
   なお、解答用紙には、必要事項以外は記入しないこと。
5. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。
6. 解答冊子の各ページは、切り離さないこと。
7. 配布された解答冊子は、持ち帰らないこと。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ること。
9. 試験終了後、指示があるまでは退室しないこと。

著作権の関係上公表しません

出典：Harlow R. (2007). *Maori: A Linguistic Introduction*. Cambridge University Press. の pp.150-151 を一部改訂

問 1. 本文の内容に基づき、マオリ語の基本語順と例外的語順の生起条件を関連づけ、100 字以上 120 字以内の日本語で簡潔に論述せよ。自身のマオリ語の知識を付け加えても構わない。（40 点）

問 2. 本文の内容に基づき、Greenberg の普遍 12 とマオリ語の wh 疑問を比較し、相違点を 80 字以上 100 字以内の日本語で簡潔に論述せよ。自身のマオリ語の知識を付け加えても構わない。（40 点）

問 3. コーパスを用いた言語研究は盛んになりつつある。本文にある、または別のマオリ語の文法項目を一つ選び、コーパスを使うときの利点と限界を 100 字以上 120 字以内の日本語で簡潔に論述せよ。自身のマオリ語の知識を付け加えても構わない。（40 点）

2 以下の言語学に関する用語を日本語で簡潔に論述せよ。

問 1. 文法化（20 点）

問 2. 名詞転換動詞（20 点）

問 3. 通時的・共時的（20 点）

問 4. 用法基盤モデル （20 点）